

1万人の子どもたちに、エビで食育プロジェクト！
「えび丸ごと夢の料理コンテスト」クラウドファンディングに初挑戦
文部科学省後援 審査員には人気芸能人や一流シェフが参加

一般社団法人日本海老協会（事務局：東京都中央区勝どき2-8-12 代表理事：藤井務）は、全国の子どもたちにエビを配り、夢のエビ料理を自由な発想で描いてもらう「えび丸ごと夢の料理コンテスト」を毎年開催しています。今年で5回目となる本コンテストは、より多くの方に本プロジェクトを知ってもらうべく、2025年4月10日(木)よりクラウドファンディングに挑戦することになりました。1万人の子どもたちにエビを届けることを目標としており、支援者には、日本海老協会が厳選したエビをはじめとした特別なリターン品をご用意しております。



なお、本プロジェクトは、文部科学省から後援を受けており、食育の観点からも大きな意義を持つ取り組みとして推進しています。エビを丸ごと味わい、命の尊さや食の大切さを学ぶ食育プロジェクトです。

※クラウドファンディング 公式ページURL：<https://x.gd/MbI4P>

■えび丸ごと夢の料理コンテスト 開催概要

募集開始：令和7年5月1日(木)～7月20日(日)
審査期間：令和7年8月1日(金)～29日(金)
受賞発表：令和7年9月15日(月・祝)（海老の日）
開催場所：オンライン
主催：一般社団法人日本海老協会
後援：文部科学省
対象者：3才～満18才
対象施設：小中学校、保育園、幼稚園、児童養護施設など
賞品：日本海老協会認定の豪華えび商品
参加費：無料
公式HP：2025年5月1日公開予定



<https://ebikyukai.jp/ebifes/dreamcooking-2024/>（※昨年のHPはこちら）

■なぜ「えびの丸ごと夢の料理コンテスト」を始めたのか？

2014年に設立した日本海老協会は「美味しいエビをもっと日本の食卓に届けたい」という想いのもと、エビの美味しさを広める活動を続けています。エビ料理の魅力を発信するイベント「エビフェス！」を開催するほか、子どもたちに向けた「エビ解剖教室」を企画して小学校に出向くなど、地道な食育活動もしてきました。



近年、スーパーで売られる剥きエビしか知らない子どもたちが増えています。外食や給食でも、エビの姿を見たことがない、エビ本来の味を知らない——そんな現状に対し、当協会は「子どもたちにエビの魅力を伝え、命の尊さを学ぶ機会を作りたい」と考えました。そこで、有頭エビを子どもたちに無償提供し、エビの特徴を観察しながら解剖した後、家族が笑顔になるような夢のエビ料理を描いてもらう「えび丸ごと夢の料理コンテスト」を開催することになったのです。



初めて手にする有頭エビを見て「私たちは命をいただいているんだ」という実感がわく子どもたちがたくさんいます。その実感が食べ物を無駄にしない意識を育み、フードロスの解決へと繋がる。さらに、エビのふるさと「海」にも思いを馳せ、海の環境を守ることも大切さを感じ取る。このように、子どもたちにとって貴重な機会でもある「えび丸ごと夢の料理コンテスト」をより多くの方に知っていただきたく、クラウドファンディングに挑戦することになりました。

■受賞作品は有名レストランのシェフが完全再現・・・「シェフ部門」

「えび丸ごと夢の料理コンテスト」は、ただ夢のエビ料理を描く絵画コンテストではありません。「シェフ部門」受賞作品は、テレビでも紹介される日本の料理界を代表する一流レストランのシェフたちが実際に再現し、夢の料理をカタチにします。



※2024受賞作品再現料理

(落合務シェフ「ラ・ベットラ・ダ・オチアイ」オーナーシェフ)



(三國清三シェフ「オテル・ドゥ・ミクニ」オーナーシェフ)



(脇屋友詞シェフ「トゥーランドット 臥龍居」オーナーシェフ)



(茂出木浩司シェフ「三代目たいめいけん」オーナーシェフ)



(鈴木弥平シェフ「ピアッツスキ」オーナーシェフ)



(野永喜三夫シェフ「日本橋ゆかり」三代目主人)

あの人気芸能人がコンテストの審査員に決定！！・・・「芸能人部門」

「えび丸ごと夢の料理コンテスト」は、一流レストランのシェフや有名企業などに審査員として参加いただいています。さらに今年は、日本海老協会が認定する「名誉海老大使」の高橋英樹さん・真麻さん親子をはじめ、「エビカニクス」のダンスユニット・ケロボンズさんといった人気芸能人も審査員に加わっていただくことになりました。子どもたちにとって、テレビで活躍する憧れの有名人に作品を見てもらえるチャンスです。受賞名は「高橋英樹賞」「高橋真麻賞」「ケロボンズ賞」など、各審査員が選んだ1枚の作品にそれぞれの名前入りの賞が授与されます。



(左から、俳優・高橋英樹さん、フリーアナウンサー・高橋真麻さん、ダンスユニット・ケロボンズのお2人)

■協賛企業募集中！あなたの企業名が特別賞に！！・・・「協賛企業賞」

「協賛企業賞」とは、コンテストに協賛する企業が選ぶ特別な賞で、「〇〇(企業名)賞」として表彰されます。貴社の想いを込めた賞品を提供し、子どもたちの創造力を応援しませんか？企業の魅力を発信しながら、未来の食文化を支える取り組みに参加するチャンスです！ぜひ貴社ならではの賞品でコンテストを盛り上げてください！※募集締切：2025年7月20日(日)



応援メッセージ

カルビー株式会社 かつばえびせんチーム
塩崎 高広 様

今年も「えび丸ごと夢の料理コンテスト」の開催、おめでとうございます！
私は、エビの美味しさと楽しさを広めるこの素晴らしい取り組みを応援しています。子どもたちの自由な発想とアイデアが詰まった「夢のエビ料理」がどんなものになるのか、今からとても楽しみです！

今回、「カルビー賞」では、受賞者の皆さんに
「かつばえびせん1年分」を贈呈します。

「やめられない、とまらない」美味しさをぜひご家族やお友達と一緒に楽しんでください！
子どもたちがエビをもっと好きになり、食の楽しさを感じてもらえることを願っています。
素敵な作品をお待ちしています！

協賛企業部門

株式会社カルビー 選出



かつばえびせん
小野原 颯亮さん(12歳)

▼昨年（2024年）カルビー賞の内容

カルビー株式会社の「かっぱえびせんチーム」が選ぶ「カルビー賞」では、受賞者に「かっぱえびせん1年分」を贈呈！「やめられない、とまらない♪」のフレーズでおなじみの、エビの風味たっぷりのお菓子を、1年間たっぷり楽しめます。

▼協賛金・支援金の使い道

協賛企業様からいただいたご支援は、「全国1万人の子どもたちへのエビの配布」、「解剖キットや学習教材の制作」、「コンテスト運営費（HP制作費・審査費・広報費など）」、「受賞作品のシェフによる再現費用」の活動に活用させていただきます。

■リターン品について※詳細はこちらから：<https://x.gd/MbI4P>

今回のプロジェクトでは、目標金額をまずは100万円に設定しています。しかし、私たちの本当の願いは、できるだけ多くの方に海の恵みの大切さを知っていただくことです。ご支援への感謝として、リターンには当協会が厳選した「本当に美味しい厳選したエビ」を定期的にお届けするプランや、有名シェフのオリジナル海老料理を食べられるお食事券などをご用意しました。どのリターン品も、ひと口食べれば、エビ本来の旨みと贅沢な食感が広がります。この「噛みしめる喜び」を、皆さまと分かち合いたいと思っています。

<リターン品の一例>



1. 【#おうちで海老の解剖セット】…「天然大きな有頭エビ（8尾）」「解剖下敷き」「えびかに塗り絵」3点セット
2. 【厳選海老食べ比べセット】…天然大きな有頭エビ（8尾）& 特大むきえび1kg
3. 【巨匠オリジナル海老料理 ランチお食事券 1名様分】…海老の特別メニューを料亭「日本橋ゆかり」で体験

■団体概要

- 名称：一般社団法人日本海老協会
- 事業内容：「海老で食卓を笑顔にする！」をキャッチフレーズとし、長寿の象徴である海老を家族みんなで食べることを通して、長寿を祝い、家族の末永い健康と幸せを願う新しい食文化を創造すると共に、未来を担う子ども達に、正しい「魚食」の知識を伝え、健やかな成長をサポートする食育推進活動を行うことを目的とする。
- URL：<https://ebikyoukai.jp>

「エビの未来を守り、子どもたちに食の大切さを伝える」このプロジェクトに、ぜひ取材やご支援をお願いします！

本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人 日本海老協会（担当者 藤井稚代）

電話番号：03-6822-2077 メールアドレス：info@ebikyoukai.jp